



地球環境と人間社会の関係をより良くするための 教育研究活動

総合理工学部 教授 汪 発武

地球環境、特に地質環境は人間社会に大きな影響を与えます。また逆に、人間活動は地質環境を変えることによって、災害を引き起こすこともあります。本学では、異なる学部・研究科から災害関連の教育研究活動を行っている教員を集結し、自然災害軽減に向けた教育研究センターを作り、幅広く教育研究活動を実施しています。また、国際地盤災害軽減機構の協力の元、**2018年**にユネスコチェア「地球環境災害軽減」を申請し、採択されました。いま、世界各地の自然災害教育者・研究者と共に、国際的な教育研究活動を行っています。

例えば、**2018年**インドネシアPalu地方を中心に、地震によって、津波や地すべりが多発し、多くの人命が失われました。その地すべり災害を促進したのは、農地灌漑によるものであるとわかりました。また、**2018年9月**に、北海道胆振東部地域で地震が発生し、**9000年前**の噴火によって堆積した軽石や火山灰が風化されたことによって、**5600個以上**の地すべりを発生させ、甚大な災害となりました。

世界各地の研究事績を積み重ね、地球全体の安心・安全を作りたいです。

